

～土佐の近代詩確立の中心的詩人～

岡本弥太
(1899年～1942年)



白牡丹図
捧げるもの
剣を差して急ぐもの
日の光青くはてなく
このみちを
たれもかへらぬ

岸本町(香我美町岸本)の詩人。大正7年高知商業学校卒業、神戸で就職。兵役を経て、大正12年25歳で小学校代用教員となる。

教職の傍ら、「ゴルゴダ」「麗詩仙」「青騎兵」創刊。また、中央詩壇「詩神」「日本詩壇」に投稿。

昭和7年に生前唯一の詩集『瀧』を刊行し、全国の詩人の注目を集める。

没後、月見山のふもとに詩碑が建てられ、詩碑には高村光太郎の書で、詩集「瀧」の巻頭にある「白牡丹図」の詩が刻まれている。

～東洋のロビンソン・クルーソー～

野村長平
(1762年～1821年)

長平まつりで行われていたイカダレース



岸本村(香我美町岸本)の水夫。1785年に田野へ藩米を運び帰航中、遭難し、760kmも離れた無人島「鳥島」(小笠原諸島)に漂着した。

アホウドリの肉と卵・貝・海草などを食し雨水を飲み、羽毛で衣類を作る。2年目までに一緒に漂着した仲間が死没し、長平ひとりとなる。

後に、大阪・薩摩の船が漂着し、3年がかりで船を作り、12年4カ月の無人島生活を脱し、寛政10年に土佐に帰る。

岸本の偉人たち

～29代 木村庄之助～

櫻井春芳



最後の1番
貴乃花 対 武蔵丸



1936年に生まれ、岸本国民学校4年生の時に隣家の相撲愛好家に「どうだ、東京に行ってみないか」と勧められ、9歳で二所ノ関部屋に入門し、1945年11月に式守春芳の名で初土俵。

きびしい修行に耐え、1963年に26歳で十両格に昇進し、その後も昇進を続け、1995年に行司の最高位である29代木村庄之助を襲名する。風格のある軍配さばきは定評があり、後進の行司の手本と賞賛された。

～岸本地区初の国務大臣～

宇田耕一
(1904年～1957年)

宇田会館



1904年に生まれ、幼少期を岸本の伯父の家で過ごした。岸本小学校では終始優等生で通し、その後も秀才ぶりを発揮した。

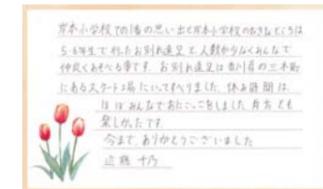
1942年の第21回衆議院議員総選挙に当選し、政界への第一歩を踏み出すと、1956年石橋内閣の国務大臣、1957年第1次岸内閣の国務大臣、経済企画庁長官、科学技術庁長官、原子力委員会委員長として国政に尽くした。

1937年に岸本小学校に宇田会館を寄贈した。



ふかみ ひさし
深見尚史さん

岸本小学校の1番の思い出は、運動会です。理由は、最後の団長でみんなと楽しくできる大イベントだったからです。あと、とてもきんちょうした香南市の水泳記録会で選手宣誓をできたことがうれしかったです。岸本小学校の好きなおところは、みんながおだやかなところ。全校でおにごっこをしましたりしたからです。岸本小学校今までありがとう。



こんどう ちの
近藤千乃さん



岸本小学校での1番の思い出と岸本小学校の好きなおところは、5・6年生で行ったお別れ遠足と人数が少なく、みんなで仲良く遊べることです。お別れ遠足は香川県の三木町にあるスケート場に行つてすべりました。休み時間は、ほぼみんなでおにごっこをしました。両方とも楽しかったです。今までありがとうございました。



やまもと せん
山本千さん

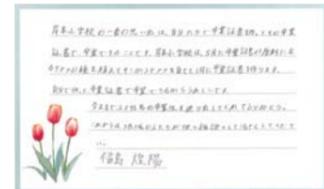
ぼくの1番の思い出は、岸本小学校のみんなでアオギリという木でウグイスを作ったことです。みんなうまうまできていました。岸本小学校の好きなおところは、外に築山というのがあって、だれでも遊べる場所です。けがもしたけど、みんなとおにごっこができてよかったです。岸本小学校、今までありがとう。



最後の卒業生のメッセージ



最後の卒業式の様子



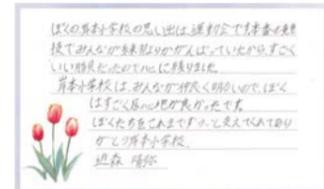
ふくしま こうや
福島煌陽さん



岸本小学校の1番の思い出は、自分たちで卒業証書を作ってその卒業証書で、卒業できることです。岸本小学校は、5月に卒業証書の原料になるケナフの種を植えてそこからケナフを育てて1月に卒業証書を作りました。自分で作った卒業証書で卒業できるからうれしいです。



今まで、2376人の卒業生を送り出してくれてありがとう。これからは地域の人たちが使う施設として活やくしてください。



ちかもり はるや
近森晴弥さん



ぼくの岸本小学校の思い出は、運動会です。本番の競技でみんなが練習よりがんばっていたから、すごい勝負だったので心に残りました。岸本小学校は、みんなが仲良く明るいので、ぼくはすごく居心地が良かったです。ぼくたちをこれまでずっと支えてくれてありがとう岸本小学校。

